

尾張自然観察会通信

2025年2号

発行2月1日



ミヤマウグイスカグラ

ウグイスカグラの仲間（スイカズラ科）

ウグイスカグラという和名の由来は、ウグイスが鳴き始める早春に咲く神楽の舞に似た花という説や、小枝が細かくウグイスが隠れるのによい樹形によるという説があります。(wikiより)

ウグイスカグラは森林公園で、ヤマウグイスカグラは海上の森で、ミヤマウグイスカグラは大野極楽寺公園で見られます。この3種は萼や花柄の毛の多寡で見分けられます。

-----目 次-----

当面の行事案内	1
ごあいさつ	2
おしらせ	2
総会報告	3
定例観察会報告	4
善師野自然観察会（12月）	4
尾張北部自然観察会（1月）	5
森林公園自然観察会（1月）	6
木曽川下流自然観察会（1月）	7
海上の森自然観察会（1月）	8
日進岩藤川自然観察会（1月）	9

当 面 の 行 事 案 内

■定例観察会

日付	場所	催行時間	集合場所	担当	連絡先
2/1（土）	明德公園	9:30~12:00	明德公園西駐車場入り口表示板	辻	080-3073-6827
2/1（土）	尾張北部	9:30~14:00	さら・さくら第2駐車場	木村	080-3642-8304
2/2（日）	森林公園	9:30~12:00	森林公園案内所	霜	090-3560-0964
2/9（日）	木曽川下流	9:30~12:00	138タワー玄関前	齋竹	0587-37-7616
2/15（土）	海上の森	10:00~15:00	海上の森駐車場	内海	090-9912-3686
2/16（日）	日進岩藤川	9:30~12:30	日進市総合運動公園の駐車場	鬼頭	0561-38-2792
2/22（土）	善師野	9:30~15:00	善師野駅前（農道駐車不可）	平井	052-504-5223
3/1（土）	明德公園	9:30~12:00	明德公園西駐車場入り口表示板	辻	080-3073-6827
3/1（土）	尾張北部	9:30~14:00	さら・さくら第2駐車場	木村	080-3642-8304
3/2（日）	森林公園	9:30~12:00	森林公園案内所	霜	090-3560-0964

通信に掲載したい事項やメールアドレス変更などがありましたら、下記担当者までお知らせください。

<編集担当> 齋竹善行

住所：〒482-0007 岩倉市大山寺元町 12-3 メールアドレス：BZA03620@nifty.ne.jp

ごあいさつ

尾張自然観察会会長 平井 直人

名前だけの副会長を長く担当していましたが、昨年の途中から会長代理となり、今年から会長を担当することになりました。30年ほど前に1年だけ会長を担当しましたが、その当時は現在のように各指導員が観察会を担当する形ではなく、指導員の研修を目的とした観察会を行っていました。その流れで支部の総会も実施していたため、和気あいあいとした総会でした。そのうちに皆が自分で観察会を主催する動きになり、観察会活動が活発になりました。そして、指導員以外の方々にも広く会の活動を知っていただけるようになり、参加者から指導員講習会を受ける方も出てきました。その一方で指導員が顔を合わせる機会が減り、会全体の運営を考える場が主に年1回の総会ぐらいになってしまいました。観察会で会わなければなかなか連絡もできず、総会に出席される方々以外はだんだんと関係が疎遠になってしまい、現在は、総会参加者も限られ、一部の方々で会の運営を行っています。

この状況を変えたい、会の運営をやりやすくしたいという想いから、昨年、会全体の行事も限定され、運営費の出入りも少ないという理由で、尾張自然観察会の会費をなくしました。また、会員の方に会員意識を持っていただくため、どこかの観察会に所属していただくことにしました。さらに今年より役員を各観察会から選出していただくことにしました。会の今後について、多くの会員の方と考えていけると、尾張自然観察会も変わっていくのではないかと考えています。

そこで、尾張自然観察会として、6月7日（土）、辻さん主催の明德公園自然観察会を、令和7年協議会事業の「あいち自然観察会」に重ね、会員みんなで集まろうということになりました。尾張自然観察会のみなさんぜひ・ぜひ明德公園でお会いしましょう。

お知らせ

■新体制がスタート

1月13日の総会で新役員を選出、新年度事業・予算が決まりました。（総会報告をご覧ください。）

新しく会長に就任された平井直人さんのもとで新年度の事業がスタートしますが、何点か変更などがありますのでご注意ください。

●尾張自然観察会の銀行口座の変更

このたび、会計が霜桂子さんから内海勇夫さんに交代しました。（内海さんは事務局&会計を担当）

これまでの口座は「ゆうちょ銀行」のものでしたが、口座管理者（会計が担当）の変更手続きが非常に煩雑なため、新しく銀行口座を開設する予定です。愛知県自然観察指導員連絡協議会の会費は3月の協議会総会後に納付の案内をしますので、その前に**今までのゆうちょ銀行の口座に払い込まない**ようお願いします。

●尾張自然観察会のホームページの移設

尾張自然観察会のホームページは、現在、無料レンタルサーバー『スターサーバーフリー』を利用していますが、管理会社から今年の3月末でこのサービスを終了する旨の通告がありました。

そのため、サービス終了までに、別のサーバーにホームページを移すように担当の高橋征生さんと山田博一さんが準備しています。新しいホームページのURLが決まりましたら改めてお知らせします。

●現在の会員数

今年の総会時点の尾張自然観察会の会員数は60名で、減少傾向が続いています。これまでで最大だった1998年の120名超と比べると半分以下になりました。なお、昨年1月時点の会員数は68名でした。

今年は、県内で自然観察指導員講習会が開催される年です。多くの新指導員の加入を期待したいものです。

■お得な情報—NACS-J会費は寄付金控除の対象

2月17日から所得税の確定申告の受付が始まります。

自然観察指導員のみなさんは、毎年6,300円（NACS-J会費5,000円＋指導員登録料1,300円）を支払っておられると思いますが、このうちのNACS-J会費の5,000円は寄付金控除（所得金額からの控除、又は税額控除）の対象となります。（指導員登録料の1,300円は対象外です。）

確定申告をされる場合は、利用してはいかがでしょうか。（寄付金控除をするか、しないかは任意です。）

総会報告

尾張自然観察会総会

日時：令和7年1月13日（月・祝）10:15～12:00

場所：小牧市民交流テラス（ラピオ2階）

参加者：10名

会議次第・議案：1月4日にメール添付で送付

議長（事務局）を選任し、議事次第に沿って審議を行った。

■第1号議案（令和6年度事業実績報告）

各定例観察会の担当者から昨年度の事業について報告され、承認された。

- ・ 明德公園：スケッチタイムを設け五感を大切にしたい観察会を実施
 - ・ 尾張北部：一般95名、指導員80名 季節にあった自然を見に出かけた。
 - ・ 森林公園：一般71名、指導員136名 おもしろい観察会をこころがけた。12月で代表者交代
 - ・ 木曾川下流：一般56名、指導員49名 参加者がカ固定化
 - ・ 海上の森：一般53名、指導員63名 昆虫を中心に見て回った。
 - ・ 日進岩藤川：月3回実施（うち3回雨天中止） 計402名
 - ・ 善師野：計93名 善師野のほか七宗、本宮山に出かけた。珍しい昆虫が出現
- HPのサーバーのサービス終了が通告されており、別のサーバーへの変更が課題
尾張北部生態系ネットワーク協議会への加入については様子を見ている。

■第2号議案（令和6年度決算書及び監査報告）

会計から昨年度の収支報告が、監事から適正に処理されていた旨の報告があり、承認された。

■第3号議案（令和7年度役員選出）

次のとおり承認された。

会長：平井直人 副会長：高橋かほる 事務局：内海勇夫 会計：内海勇夫
監事：木村眞一郎 機関誌：齋竹善行 HP：高橋征生、山田博一

■第4号議案（令和7年度事業計画案）

事務局から事業計画の説明があり承認された。

- ・ 日進岩藤川自然観察会は尾張支部としての活動を終了する。（時期等を確認する。）
- ・ 小牧・春日井・定光寺あたりで定例観察会を立ち上げたい。

通信はメールリストを通じての配信に切り替えた。

現在HPで利用している無料のサーバーは問題があるので、別の有料のサーバーに変更したい。

あいちの自然観察会に代わる会員の交流の場を設定するよう提案があり、定例観察会で持ち回りとし、今年度は明德公園自然観察会で6月7日に実施することとした。

■第5号議案（令和7年度予算案）

会計から予算案の説明があり、HP用のレンタルサーバーの費用を追加して承認された。

今年度から措置された定例自然観察会への助成金は会長・事務局に申請することとした。

■財産目録

事務局から破損した備品、期限切れの消耗品は廃棄処分した旨の報告があった。

ニコン製実体顕微鏡（ファープル）とペンタックス製単眼鏡各2台を明德公園自然観察会に貸与する。

■その他

協議会費の振込先を協議会の口座とするよう愛知県自然観察指導員連絡協議会の2月の理事会に提案することとした。（会員への請求手続きは尾張支部で担当する。）

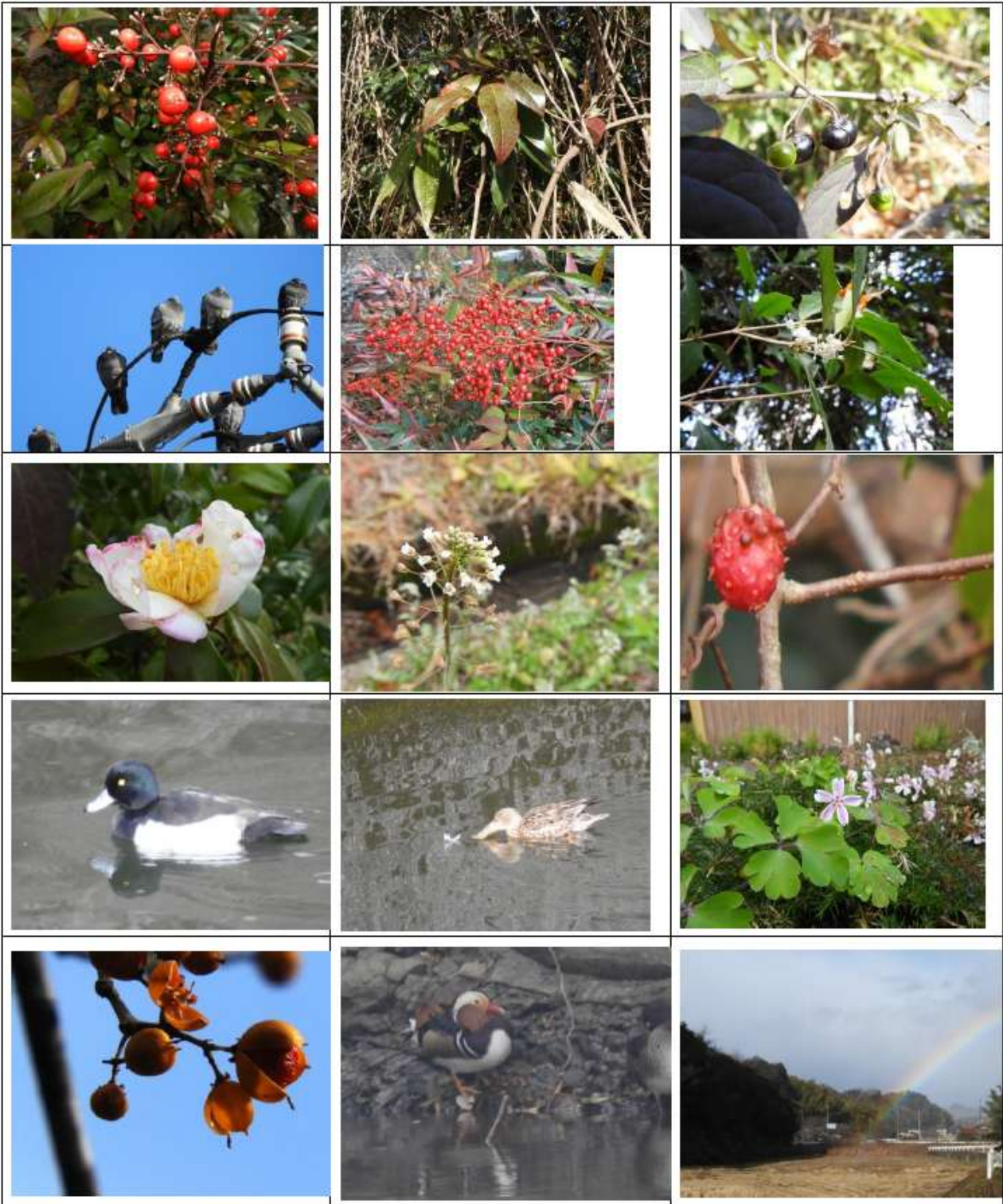
（報告：齋竹）

定例観察会報告

善師野自然観察会

12月28日(土) 指導員: 安藤、太田、木村、平井、山田 一般: 6人

リーダーの平井さんの体調が悪く、木村さんに頼まれて早退してスタートしました。鳥は、ハシブトガラス、キセキレイ、ヒヨドリ、ドバト、ジョウビタキ、コゲラ、キンクロハジロ、ハシビロガモ、ハクセキレイ、トビ、モズ、アオジに出会えました。植物は、イワオモダカ、ヒイラギの花、サザンカ、ツルウメモドキ、ヤマコウバシを観察しました。雨が降ってきたので、やすらぎの森に移動して昼食を取り、山田の家の近くの池に行ってオシドリを観察しました。その後、解散して、四人でヤマガラとシジュウカラと遊び、帰りは幸運なことに虹の根元を見ることができました。(文責: 山田博一)

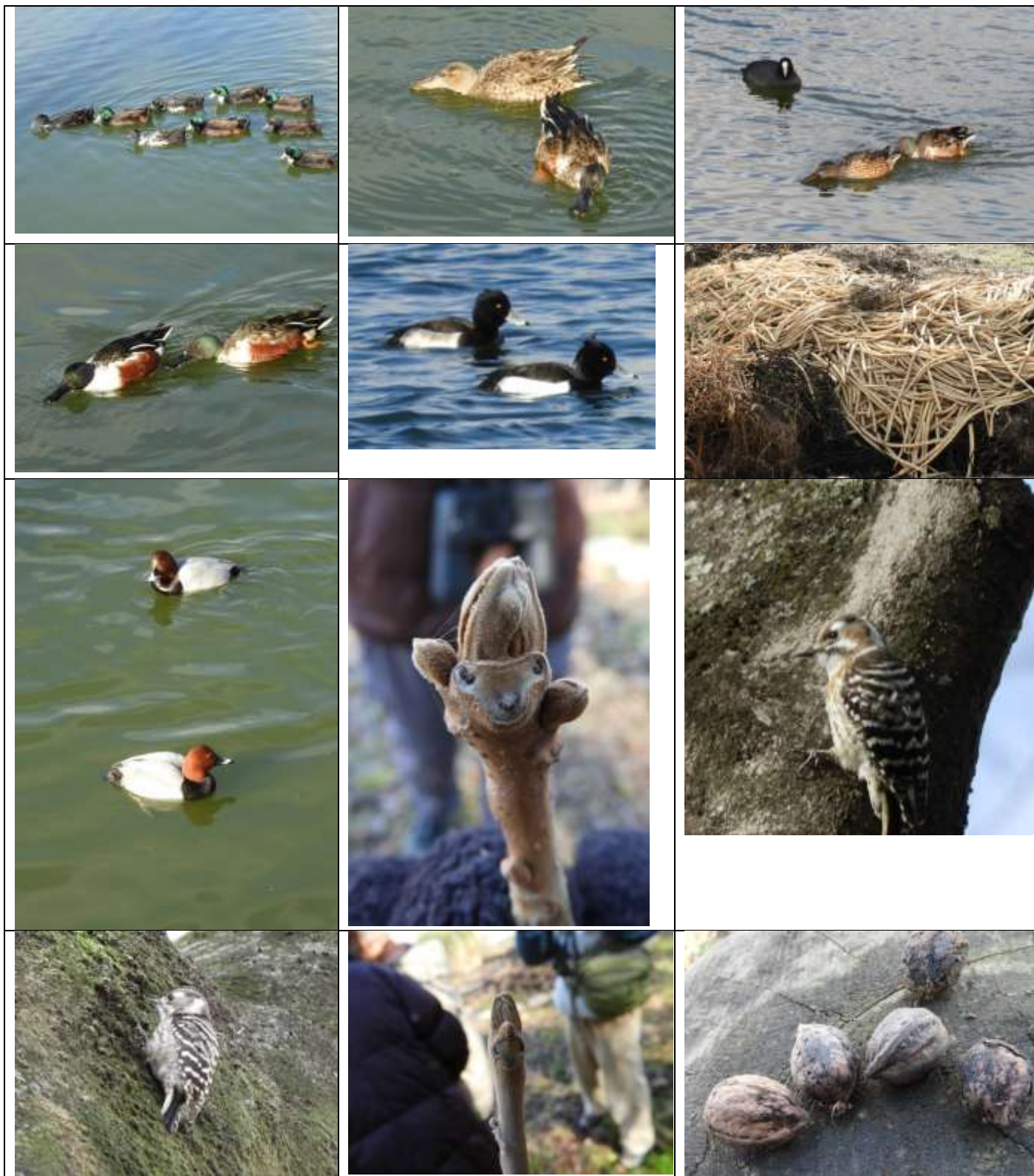


尾張北部観察会観察記録 2025 年年頭の観察会です。

2025 年 1 月 4 日

参加者 指導員（木村、山田、札野、太田、源田） 一般参加 5 名

犬山市内の徳野池から始めました。例年の通りの水鳥が見られました。ハシビロガモ、オオバン、ホシハジロ、アイガモ、カイツブリ、アヒル、コサギ、カワウ、キンクロハジロを観察できました。次に木曽川へ向かいましたがキンクロハジロがいましたが他の水鳥には会えませんでした。数年前から橋の新設工事が始まって、川の状態が変化したのが原因かもしれません。昼食にフラワーパーク江南に行きました。施設の屋上からの眺望を楽しんで、オシドリの観察に向かいました。確認は出来ましたが陸に上がってしまいました。（山田）



森林公園観察会 レポート No372

【日時】2025年1月5日 9:30~12:00 【天候】晴 【気温】最高 10.1℃、最低 1.1℃(名古屋)

【参加者】指導員 12名(高橋征、高橋か、出口、源田、小林、木村絢、石川、木村眞、岡島、内海、太田、霜)、一般 14名、計 26名
穏やかな朝に始まった今年最初の観察会は、昨年末でリーダーを勇退された出口さんに変更しニューリーダーチームで、引き続き自然の面白さや楽しさを体感できる観察会をモットーに進行。今日は若い母と元気な男児の家族が2組、一般の方もたくさん参加頂けて、とても賑やかで楽しい観察会になった。また、木村絢子さんからさまざまな植物のロゼットの植物画を頂き、いつもながら図鑑より親しみやすく観察時に活用したい♪
今日の観察テーマは、自然が造る芸術作品シモバシラ、春の息吹を感じる冬芽と顔のように見えて楽しい葉痕、小さい春を実感する早春の花などの観察♥ シモバシラが溶けてしまわないうちにまずは山野草園に直行！シモバシラ観察後、冬芽の基礎(冬芽とは、芽鱗、芽鱗痕、葉痕、維管束痕、鱗芽、裸芽、隠芽、葉痕の顔等々)について学び、山野草園~展示館裏~花木区~郷土の森~梅園~沈床花壇~東門~児童公園のルートで観察。観察した主な植物等と観察ポイントや学びは以下の通り。

- 【山野草園】シモバシラ(雨・雪・強風でない氷点下になった寒い朝に枯れた茎につく氷柱)、ネムノキ(冬芽)
- 【展示館裏】コハコベ(花)、コスミレ(花)、オニタビラコ(花)、アメリカイヌホオズキ(花と果実) …今咲く？
- 【ときわ橋】ムラサキシキブ(冬芽；裸芽)、コムラサキ(冬芽；鱗芽、ムラサキシキブと同属だが冬芽のタイプが違う…出口さん提供)
- 【花木区】コブシ(冬芽；毛皮のコート、コートの下には小さく置まれた葉と花)、マンサク(蕾；黄色の花弁がチラ見え)、アオモジ(冬芽；長楕円形の鱗芽は葉芽、やや扁平の球形は花芽で総苞片に包まれ花が中に5個)、リョウブ(冬芽；鱗芽、剥がれかけた芽鱗がナポレオンハットに見える)、ツクバネウツギ(タネ；プロペラが回転しながら宙を舞って飛ぶ)、シキザクラ(花)、ヤマコウバシ(葉；褐葉が冬も落ちずに残っている、「落ちない」木として縁起の良い木)、カラスザンショウ(葉痕；笑顔😊に見える)
- 【郷土の森】ヤツデ(花；雄性期~無性期を経てほぼ雌性期)、ヤツデの葉裏には小さい昆虫；チャタテムシ 🐛・ベニヒメヨコバイの仲間 🐛
- 【梅園】ウメノキゴケ(地衣類、ウメ・サクラ・マツ等の古木の枝や幹などに張り付く菌類の仲間)で藻類と共生、菌類は樹皮から水分を取込み、藻類は葉緑体により光合成して養分を作る)、マツゲゴケ
- 【沈床花壇・外周】シロバナタツナミソウ(花)、ヒメオドリコソウ(花)、ホトケノザ(花)、オニノゲシ(花；葉に光沢があり刺が多くチクチク、ノゲシは葉に光沢が無く柔らかくて刺はあまり硬くない)、スミレモ、ヘビイチゴ(花と果実)、ムラサキサギゴケ(花)、サザンカ(花)、センリョウ(実)
- 【児童遊園地】イロハカエデ(冬芽；鱗芽、混芽)、アカメガシワ(冬芽；裸芽、葉痕)、アオギリ(冬芽；鱗芽)



木村絢(画)

霜(記)



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2025年1月12日(日)9:30~12:00(曇り)

参加者 一般：4名

指導員：太田、齋竹

テーマ 冬鳥は来たかなー野鳥 20 種探し

日陰には雪が残る寒い朝でした。

野鳥が多く見られそうな南派川の低水敷のヨシの繁みに沿って歩きました。

この時期ならではのシジュウカラとメジロの混群が枯れたヨシの間を動き回り、上空をカワラヒワの群が飛び、川原の木の梢には、ツグミの 10 数羽程の群が止まっていました。ツグミは周辺にいくつかの群がいて、時折、近くの林に移動したり、戻ったりしてじっくり姿を見せてくれました。例年なら今頃は市街地でも姿が見られるのに、今季は大陸から群で渡って来て、そのまま群で行動しているものと思われます。

今季まだ姿を見ていなかったシメは 2 羽が確認できましたが、これまで見られていたアトリやベニマシコは出現しませんでした。ちょうど 1 年前に川原に生えていたアキニシなどが大規模に伐採され、餌となる実が減ったことが影響しているのかもしれない。

南派川の水面にはカワアイサが 10 羽程浮かんで流れを下っていました。渡って来ているはずのカモ類やオオバンの姿はありませんでした。それでも、確認できた野鳥の種数は 22 種ありました。過去の 1 月の記録は、22 年が 21 種、23 年が 18 種、24 年が 23 種で、今年も例年並みの種数でした。

野鳥を観察していた付近の川原には土を盛り上げた新しいモグラ塚がたくさんできていました。冬でも地中は暖かいのでしょうか、モグラはトンネルを掘り進めているようです。

堤防道路の近くでトベラの実が裂けて赤い果肉が出ていました。よく見ると黒い虫が何匹か付いていました。こんな寒い時期にも動き回っているんですね。

昨年までは 1 月には咲き始めていたミヤマウグイスカグラは、蕾がピンクに色づき始めたところで、花はまだ少し先になりそうです。トサミズキの蕾も膨らんで黄色になり、春の近さが感じられました。

午後から木曽川橋下流のコハクチョウが来るスポットを覗いてみましたが、姿はありませんでした。対岸(右岸)側にキンクロハジロが 50 羽程いただけで、毎年ここで多く見られたオオバンの姿もありませんでした。今季は例年と渡り鳥の様子がずいぶん異なっているようです。(報告：齋竹)



川原でツグミの群を観察中

<その他観察できたもの>

鳥：トビ、オオタカ、コゲラ、キジバト、ヒヨドリ、エナガ、アオジ、ムクドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハクセキレイ(声)、シロハラ(声)、ジョウビタキ(声)、ウグイス(声)、モズ(声)、アカゲラ(声)

虫：ヨコツナサシガメ(幼虫)

花：サザンカ

蕾：ソシンロウバイ



川原にたくさん並んだモグラ塚



3つに裂けたトベラの実



トベラの実にいた虫



芽鱗がとれたトサミズキの花芽



ツマキヘリカメムシ ヘリカメムシ科



オオトビサシガメ サシガメ科



ホンドクロオオクチキムシ? ゴミムシダマシ科



ヒゲナガサシガメ幼虫 サシガメ科



トサカグンバイ グンバイムシ科



キマワリの幼虫 ゴミムシダマシ科



ジャコウアゲハの蛹 アゲハチョウ科



クロスジホソサジヨコバイ ヨコバイ科

1月の観察会は、昆虫たちが中心です。成虫越冬や幼虫・蛹の姿で、石の下や木の皮の下・木の葉の裏側などでひっそり隠れていました。 (内海)



風は弱く、薄曇りの日。アカマツの梢にヒヨドリがいました。飛び立つと同時に体を反転させようとするようなアクロバティックな動きを見せました。春が近くなるとこのような小鳥の姿を見ることがあります。繁殖の季節に向けて動物質の栄養を取ろうとするのかなと思います。羽化し始めたユスリカなどを捕食しているようです。(鬼頭)



トビ キャンプ場の東の林の上の方になじみのある鷹の仲間が止まっていました。大きな体でM型の尾羽が見えました。舞い上がると尾羽を広げ、三味線のばちのような形になります。



ベニマシコの雌
調整池のアキニレに止まって、実をついばんでいました。セイタカアワダチソウなどいろいろな種子を食べているのを見ます。雄は体が赤く見えます。



ヒイラギ
葉の縁が棘状で触ると痛い木です。古語で痛いことを表す「ひいらぐ」からきた名前のようにです。モクセイ科でほのかな芳香があります。ヒイラギは年を経ると刺が少なくなります。



ハシブトガラス 公園にはハシボソガラスもありますが、少し大きめでカーカーと澄んだ声で鳴くカラスです。本来は森のカラスですが、近年は都市部でもよく見られ、脂質を好みます。知能が高くさまざまな行動が知られています。



蛾の卵(孵化後)
2 ヶほどのヤマユガ科の卵です。サクラバハノキに産んでいました。オナガミズアオかオオミズアオか断定はできません。周りの落ち葉にくるまれて蛹で越冬していると思うのですが探す余裕がありませんでした。



タケカレハの繭
以前は笹の葉に付いているのをよく見かけましたが、最近は数を減らしているようです。幼虫は5月頃、左のように色鮮やかな姿(毒針毛を持つ)でよく目立ちます。蛹には上のように、黒色の斑点が見られます。

